Pioneer

Cyclocomputer サイクルコンピューター

SGX-CA900

取付・取扱説明書

基 本 編

はじめに
準備
取り付け
基本操作
仕様・サポート

このたびは、サイクルコンピューター SGX-CA900 をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

サイクルコンピューターをご使用になる前に、必ず本冊子をお読みください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

目次

取扱説明書の構成について

本機の取扱説明書は、本書「取付・取扱説明書（基本編）」と「ユーザーズガイド（WEB編）」で構成されています。

「取付・取扱説明書（基本編）」（本書）

本機をお使いいただく前に知っておいていただきたい内容や、本機の基本的な操作方法などを説明しています。

- 安全にお使いいただくためのご注意
- 自転車への取り付け手順
- 基本操作

「ユーザーズガイド（WEB 編）」

http://pioneer.jp/support/manual/cycle/sgx-ca900/
本機の詳細な操作方法を説明しています。

- CycloMeter（アプリケーション）表示のカスタマイズ
- 本体設定のカスタマイズ
- システム設定
- ファームウェアアップデートなど

解析サービス「シクロスフィア」について

cyclo-sphere.com
「シクロスフィア」では、本機に保存したログデータをアップロードして、より詳細な走行データの分析ができます。

＜対応 WEB ブラウザ＞

・ Google Chrome
・ FireFox
・ Safari
・ Internet Explorer 9
・ Opera

詳細は、「ユーザーズガイド（WEB 編）」をご覧ください。

本機でできること

走行データ表示（CycloMeter）

速度やパワー、ケイデンスなどの走行データを数値やグラフで詳細に表示します。ペダリングモニターセンサー SGY-PM900 シリーズと組み合わせると、ペダルの回転角度ごとのトルクや力の方向などを表示できます。
表示するデータの単位やカテゴリー、レイアウトはカスタマイズできます。

ログ機能

経過時間や各種センサー情報など、自転車の走行ログを記録（ロギング）します。ログには GPS 機能を利用した走行軌跡や位置情報も保存され、詳細なトレーニングの分析に役立てることができます。
自転車の走行状態にあわせて自動でロギングを一時停止、再開することもできます（オートポーズ / レジューム）。

アップデート

ファームウェアアップデートにより、さまざまなアプリケーションが追加される予定です。ファームウェアアップデート、アプリケーションの追加については、SGX-CA900 サポートページをご覧ください。

http://pioneer.jp/support/

安全にお使いいただくためのご注意

絵表示について

本書中では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険	この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性があり、その切迫の度合いが高い内容」を示しています。
⚠警告	この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示の欄は、「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。

内蔵電池のご注意

⚠危険

本機はリチウムイオン電池を内蔵しています。
- 分解しない。
- 指定以外の方法で充電しない。
- 火の中へ投入、加熱をしない。
- 火のそばや炎天下など高温の場所で放置をしない。

発熱・発火・破裂の原因になります。

⚠警告

強制	本機内蔵電池の液漏れ、異臭がするときは、直ちに使用を控えてください。

取り付け時のご注意

⚠警告

強制	本機をご自身で取り付ける際は、本書の取り付け説明に従って正しく取り付けてください。事故の原因になります。
	付属品の部品で正しく取り付けてください。他の部品を使うと、しっかり固定できないので、事故の原因になります。
禁止	運転操作の妨げや車体の可動部の妨げになる場所に取り付けないでください。事故の原因になります。ハンドルやブレーキなど正しく操作できることを確認してください。
	本機を自転車に放置しないでください。直射日光の強いところや炎天下、高温、高湿、ほこりの多い場所に放置すると本機内蔵電池の液漏れ、破裂によりけがの原因となります。
	ネジ、ボタン電池などの小物部品は、乳児の手の届くところに置かないでください。誤って、飲み込む恐れがあります。 万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

⚠注意

強制	本機を確実に取り付けてください。本機を確実にブラケットに取り付けないと、落下等により、事故やけがの原因となることがあります。本機が確実に取り付けられていることを確認してください。
	ブラケットを確実に取り付けてください。ブラケットを本書の説明に従って、確実にハンドルバーに取り付けないと、落下等により、事故やけがの原因となることがあります。
	ブラケットは、径 31.8 mm のハンドルバーのみに対応します。他の径のハンドルバーに取り付けないでください。落下等により、事故やけがの原因となることがあります。

使用時のご注意

⚠警告

強制	充電するときは、本機専用の USB ケーブルをご使用になり、本機の充電端子とパソコンの USB バスパワーの USB 端子に接続してください。充電が始まらないときは、USB ケーブルを抜き充電を中止してください。
	本機に収録されているデータは実際と異なる場合があります。走行する時は、必ず実際の道路状況や交通規制標識・掲示などに従ってください。従わないと交通事故やけがの原因となります。
	本機を操作するときは、安全な場所に停車して行ってください。転倒や交通事故の原因となります。
	USB ケーブルが傷ついたり、本機が異常に発熱した場合は、直ちに使用を中止してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

強制	走行前に、本機が自転車操作の妨げにならない位置に、確実に固定されていることを確認してください。 特に、ブラケットのボルトやネジが緩んでいないかどうか、本機がブラケットに確実に固定されているかどうかを確認してください。自転車操作を誤ったり、本機が落下したりして、事故の原因となります。
	レースでの走行および石畳などの悪路を走行の場合に破損する恐れがあります。
禁止	濡れた手で USB ケーブルの抜き差しをしないでください。感電の原因になります。
	走行中は画面を注視しないでください。前方不注意となり交通事故やけがの原因となります。
	走行中のボタン操作や本機の脱着などをしないでください。交通事故やけがの原因となります。
	直射日光の強いところや炎天下、高温、高湿、低温、ほこりの多い場所に放置しないでください。故障する場合があります。
	充電端子（USB 端子）にピンや針金などの異物を入れないでください。感電や故障の原因となります。
	絶対に本体および付属品を分解・改造・修理をしないでください。感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。
	異物が入ったり、水没したり、煙が出ている、変な臭いがするなど、異常な状態のままで使用しないでください。発火の恐れがあるため、すぐに使用を中止して、修理をご依頼ください。
	本機は ANT 無線通信をしています。病院内や航空機内など、通信機器などの使用が禁止されている場所では使用しないでください。電子機器などが誤作動する恐れがあり、重大な事故の原因となります。
	本機の位置情報を、救急施設への誘導用や登山用として使用しないでください。位置情報は実際とは異なる場合があります。また、位置情報のズレにより、事故や遭難の原因となります。

⚠注意

禁止	本機を水に入れたり、ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品・洗剤・化学ぞうきんなどで本機を拭かないでください。故障の原因となります。
	本機に強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

異常発生時のお問い合わせ

⚠警告

強制	万一異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店か修理受付窓口に相談してください。事故の原因になります。お客様による修理は、絶対におやめください。

使用上のご注意

本機はサイクルスポーツのための機器であり、医療機器ではありません。

GPS 測位に関する注意

- 本機の電源を入れたときは、GPS 測位が完了するまで数分かかる場合があります。
- 本機が遮へい物で覆われていたり電波が受信しにくい状況では、GPS 測位ができない場合があります。
- 本機は GPS 測位により、位置情報を表示します。また、GPS の高度情報を利用して高度の校正を行います。測位状況によって実際と異なることがありますので、目安としてご参照ください。
- トンネルの中や高架の下など､場所によってはGPS 測位ができなかったり、感度が悪くなることがあります。

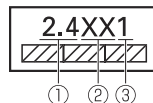
自転車への取り付けに関する注意

- 自転車へ取り付ける際は、画面が上空に向くように取り付けると GPS 衛星の電波を受信しやすくなります。
- ブラケットは、径 31.8 mm のハンドルバーのみに対応します。
- 盗難防止のため、自転車を駐輪する場合は本機をブラケットから外してください。

内蔵バッテリーについて

- リチウムイオン電池には寿命があります。
- お買い上げ時は、充分に充電されていません。充電をしてからお使いください。
- 充分に充電しても、使用できる時間が著しく短くなってきた場合は、内蔵バッテリーの寿命と考えられます。その場合は、修理受付窓口にご相談ください。（電池交換は、有償となります。）
- 内蔵バッテリーは充電しても少しずつ自然に放電しています。充電後長期間お使いになっていない場合は、お使いになる前にもう一度充電してください。
- 内蔵バッテリーを安全に使用していただくために、高温や低温時には内蔵バッテリーからの電源供給や内蔵バッテリーへの充電を停止する保護機能がはたらく場合があります。
- 内蔵バッテリーの充電が少ない場合は、製品の電源が入らない場合があります。このような場合は、内蔵バッテリーを充電してからご使用ください。

電波に関するご注意

- 本機に搭載されている特定無線設備は、電波法に基づくデータ通信システム無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また本機は日本国内のみで使用できます。
- 下記の事項を行うと法律により罰せられることがあります。
  - ＊ 分解 / 改造すること。
  - ＊ 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。
- 本機の無線機能は、2.4 GHz の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線 LAN 機器など）が使用していますので、電波の干渉が起こることがあります。また、他の機器の動作や性能に影響をおよぼすことがあります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。
  - ＊ 無線 LAN を利用した AV 機器・防犯機器などを使用している環境で、本機の無線機能を使うと、音がとぎれたり、無線 LAN 機器の動作に大きな影響を与えることがあります。
- その他、下記の機器でも、2.4GHz の周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、音がとぎれたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。
  - ＊ 火災報知機・ワイヤレスＡＶ機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
  - ＊ 工場や倉庫などの物流管理システム・鉄道車両や緊急車両の識別システム
  - ＊ マイクロ波治療器・ゲーム機のワイヤレスコントローラー
  - ＊ 自動ドア・万引き防止システム（書店や CD ショップなど）
  - ＊ 自動制御機器・その他、Bluetooth® 対応機器や VICS（道路交通網システム）
  - ＊ アマチュア無線局など

①「2.4」GHz 帯を使用する無線設備を表します。
②「XX」変調方式を表します。
③「 1 」想定される与干渉距離（約 10m）を表します。

本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社ご相談窓口にお問い合わせください。

- 本機は電波法に基づく設計認証を取得しています。

 Ⓡ001-A00476

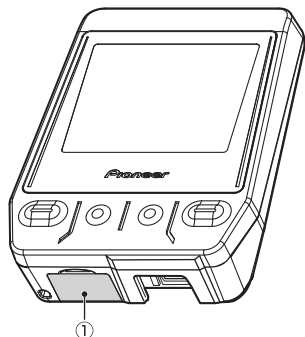
その他の注意

- 本機は、電源がオフの状態でも待機電流を消費しています。
- サングラスを使用時、偏光特性により、画面表示が見えにくくなることがあります。
- 電磁干渉によりクレジットカードなどの磁気カードが破損する場合がありますので、本機と磁気カードは離してご使用ください。
- 本機の端子類は、故障しないように取り扱いにご注意ください。
- 本機はオートバイでの使用を想定した商品ではありません。オートバイで使用しないでください。
- 本機は炎天下などの高温になる場所に保管しないでください。
- 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 使用前に充電をしてください。電池残量が少ないと、電源が切れ、使用できなくなることがあります。

・自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負うことができません。
・本書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負うことができません。
・本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
・本機の故障、誤動作または不具合により、消失したデータの補償についてはご容赦ください。

防水性能について

本機は USB 端子カバーを完全に閉じた状態で、JIS 規格に定められた「水の浸入に対する保護等級」IPX6※1 相当の防水性能を有しています。
ご使用になる条件によっては、内部に水が浸入し、火災や感電、故障の原因となる恐れがあります。以下の点をご理解のうえ、本機をご使用ください。

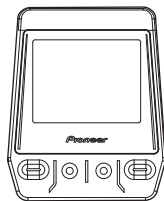
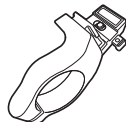
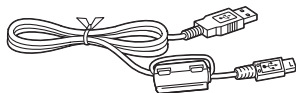
※ 1 IPX6（強い噴流水に対する保護）
内径 12.5 mm のノズルを用いて、約 3 m の距離から約 100 リットル / 分の水を 3 分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる強い噴流水によっても、本機の性能を保ちます。

① **USB 端子カバー**
カバーはしっかりと閉じてください。

- 長時間の雨や強い雨の中では使用しないでください。
- 誤った取り扱いが原因の浸水による故障は、保証対象外となりますのでご了承ください。

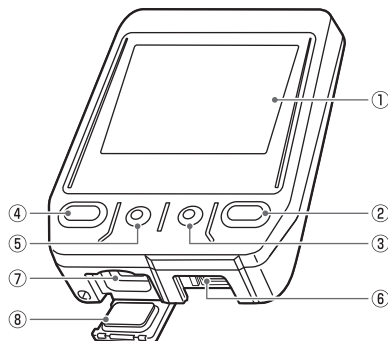
付属品の確認 / 各部の名称とはたらき

付属品

本製品は、以下のパーツで構成されています。

・ 本体

・ ブラケット / ボルト× 1

・ USB ケーブル

・ ストラップ
・ 取付・取扱説明書（基本編）（本書）
・ 保証書

各部の名称とはたらき

正面

① **ディスプレイ（タッチパネル）**
指で直接触れて、項目の選択や画面の切り替えができます。

② **［START/STOP］ボタン**
短く押すと、ワークアウトのロギングを開始 / 終了します。
2 秒以上長押しすると、本機の電源をオン / オフします。

③ **（バック）ボタン**
短く押すと、ひとつ前の画面に戻ります。
また、アプリケーションのメイン画面で押すと、本機のホーム画面を表示します。

準備

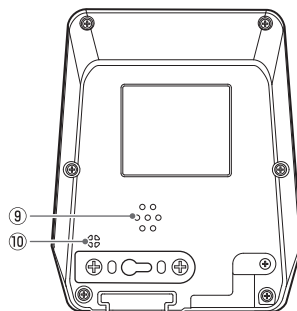
④ **[LAP] ボタン**
ロギング中に短く押すと、ラップを記録します。
1 秒以上長押しすると、タイマーがリセットされ、ログが保存されます。
詳細は、26 ページをご覧ください。

⑤ **☰（メニュー）ボタン**
短く押すと、メニューを表示します。
1 秒以上長押しすると、タッチパネルのロックとロック解除を切り替えます。

⑥ **ブラケット取り付け口**
自転車に固定したブラケットに、本機を取り付けるときに使用します。

⑦ **USB 端子**
USB ケーブルを接続して、充電や PC へのデータ転送を行います。

⑧ **USB 端子カバー**
充電しないときや PC に接続しないときは、しっかりと閉じます。

背面

⑨ **スピーカー**
アラートやクリック音などが出ます。

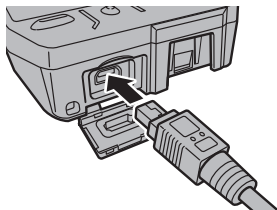
⑩ **気圧センサー**
ふさがないでください。正常に動作しなくなります。

充電

お買い上げ時は、本機の内蔵バッテリーは充電されていません。ご使用になる前に、付属の USB ケーブルで充電してください。

本機を充電する

1 **USB 端子カバーを開ける**

2 **付属の USB ケーブルを本機の USB 端子に接続する**

3 **PC の電源を入れ、USB ケーブルを PC の USB 端子に接続する**

充電が始まります。

- **本機の電源オフ時**

- **本機の電源オン時**
  充電中に［START/STOP］ボタンを 2 秒以上長押しすると電源オンになり、本機を操作できます。
  再度［START/STOP］ボタンを 2 秒以上長押しすると、電源オフになります。電源オフ時のほうが、充電時間は短くなります。

① **充電中アイコン**
：充電中
：満充電

- 約 4 時間で満充電になります（通常充電の場合）。満充電になると自動的に充電を終了します。
- 本機の電源オフ時は 5 秒で画面が消えます。タッチパネルに触ると充電状態を確認できます。

- 安全のため、本機の充電温度範囲（0 ～ 40℃）を超える環境では充電できません。また、本機内部が高温のときは、周囲の温度が範囲内であっても充電できないことがあります。この場合は、本機の電源をオフにして充電してください。
- 付属の USB ケーブルは、PC 本体の USB 端子に直接接続してください。USB ハブなどを経由して接続すると、容量不足で充電できないことがあります。パソコンの USB 出力が 5 V/500 mA に対応しているかご確認ください。
- 本機と PC とのアクセス中に USB ケーブルを抜いたり、PC のシャットダウンやスリープ、USB への電源供給の中断（サスペンド）などを行わないでください。本機のデータが破損するおそれがあります。

4 USB 端子から USB ケーブルを抜く

PC、本機の順に USB ケーブルを抜きます。

5 USB 端子カバーを閉じる

USB 端子カバーはしっかり閉じてください。カバーをしっかり閉じないと、防水性能を発揮できません。

充電状態を確認する

バッテリーの充電状態は、ホーム画面やメニュー画面のステータスバーに表示されるバッテリー残量アイコンで確認できます。

① **バッテリー残量アイコン**

- 電池の残量が少なくなると、“電池残量減少”というメッセージが表示されます。さらに電池残量が少なくなると、自動的に本機の電源がオフになります。

使用可能時間のめやす

バッテリーが満充電の状態では、以下の時間内で本機が使用できます。

- 約 12 時間（輝度 5）

- 使用状況によっては、使用可能時間が短くなることがあります。
- 充電しても使用可能時間が大幅に短いときは、バッテリーの交換が必要な場合があります。詳しくは、弊社ご相談窓口へお問い合わせください。

自転車への取り付け

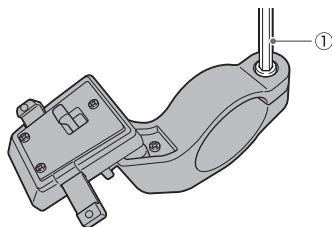
お使いの自転車に本機を取り付けます。

⚠ ご注意

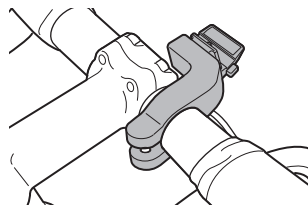
- 取り付け時は、自転車が倒れたりしないよう安定した状態に固定して取り付けてください。

本機の取り付け

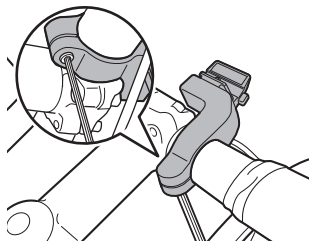
1 ブラケットからボルトを取り外す

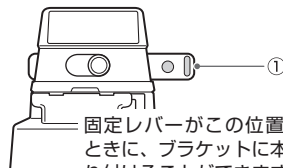
六角レンチ（3 mm）を使って、ブラケットからボルトを取り外します。

① **六角レンチ**

- 取り外したボルトをなくさないようご注意ください。

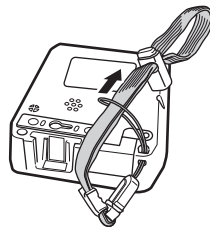
2 ブラケットをハンドルに取り付ける

- ブラケットを取り付けるときに、指をはさまないように注意してください。

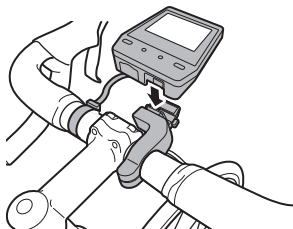
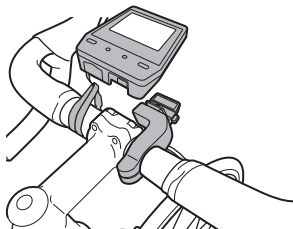
3 ブラケットをボルトで固定する

ボルトに焼きつき防止用のグリスなどを塗布します。
ブラケットがステムに対して水平になるよう調整し、ボルトをボルト穴に挿入して仮止めします。

4 ブラケットの固定レバーの位置を確認する

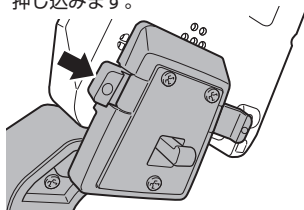
固定レバー右側の赤い丸印が見えていることを確認します。赤い丸印が見えていないと、本体を取り付けることができません。
見えていない場合は固定レバーを右方向に押し込んでください。

① **固定レバー**

5 ストラップを本機に取り付ける

本機のストラップ取り付け穴にストラップを通します。

6 本機をブラケットに取り付ける

ストラップをハンドルバーに結び、ブラケットの先端と本機のブラケット取り付け口を合わせてカチッと音がするまで本機を押し込みます。

7 固定レバーを左方向に押し込む

固定レバー右側の赤い丸印が見えない位置まで押し込みます。

矢印の方向に固定レバーを押し込みます。

- 本機を取り付けて走行する前には、必ず固定レバーの赤い丸印が見えていない状態であることを確認してください。赤い丸印が見えている状態では走行しないでください。

8 本機の角度を調整し、ブラケットを固定する

本機がハンドルバーの中心およびステムに対して水平になっていない場合は、ブラケットのボルトを緩めて調整します。角度を調整したら、仮止めしたボルトを締め付けて固定します。
ボルトを締め付けるときは、トルク測定工具を使用してください。

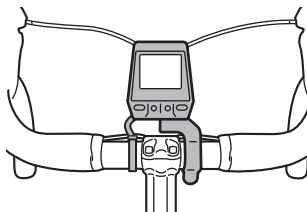
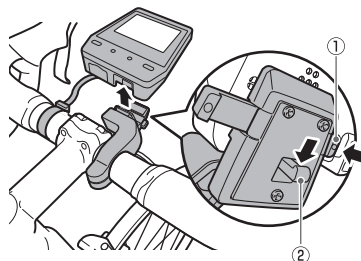
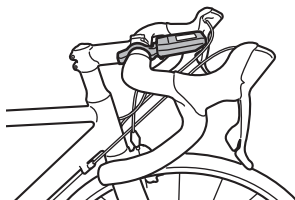
- 締め付けトルク：1.2 N·m

・ 側面

① 固定レバー

② ロック解除レバー

本機を取り外すときは

本機を取り外すときは、ブラケットの固定レバーを右方向に押し込んで、赤い丸印が本機の横に見える状態にします。
ブラケットのロック解除レバーを押し下げながら、本機を取り外します。

センサーの取り付け

本機は、お使いの自転車に取り付けた ANT+™ センサーと接続できます。
ANT+ センサーの取り付け方法は、お使いのセンサーの取付説明書をご覧ください。

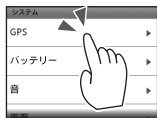
本製品は ANT+™ に認定されています。互換性のある製品やアプリケーションについては、http://www.thisisant.com/directory/ をご覧ください。

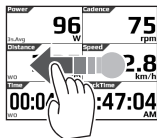
本機の基本操作

タッチパネルの操作方法

本機のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作できます。

タップ

画面の項目を指で押して、すぐに指を離します。
項目の選択や決定を行う場合に使います。

フリック

画面を指で押して、上下左右にすばやくはらいます。
ページの切り替えやスクロールを行う場合に使います。

ロングタッチ

画面の項目を指で押し続けます。
ポップアップメニューを表示する場合などに使います。

ドラッグ

画面の項目を指で押さえながら移動します。
アイコンの移動や画面のスクロールを行う場合に使います。

タッチパネル使用上の注意

- タッチパネルは指で操作してください。ボールペンなどの先端が鋭いものや固いもので操作しないでください。正しく動作しないほか、ディスプレイの傷や故障、破損の原因となる場合があります。
- 爪の先でタッチパネルを操作しないでください。爪が割れたり、突き指などのけがの原因となる場合があります。
- 市販の保護シートや保護フィルムを使用しないでください。本機が正しく動作しない原因となる場合があります。
- 本機のタッチパネルは、手袋をした状態でも操作できます。一般的なタッチパネルよりも少し強めにタッチしてご使用ください。

電源のオン / オフ

電源をオンにする

1 [START/STOP] ボタンを 2 秒以上長押しする

オープニングメッセージを表示したあと、CycloMeter を自動的に起動します。

- お買い上げ後、はじめて電源をオンにした場合は、初期設定画面が表示されます。

電源をオフにする

1 [START/STOP] ボタンを 2 秒以上長押しする

メッセージを表示し、電源がオフになります。

初期設定

はじめて本機の電源をオンにしたときは、初期設定画面が表示されます。

- ここで設定した内容は、あとで変更することができます。

1 [Language] をタップし、言語を設定する

画面をドラッグして、表示したい言語名をタップします。ここでは「日本語」を選択したときについて説明します。

2 ［日付と時刻］をタップして、日付と時刻を設定する

設定が終わったら、（バック）ボタンを押します。

タイムゾーン	タイムゾーンを選択します。
日付	日付を入力します。
時刻	時刻を入力します。
24 時間表示	チェックを入れると、時刻が24 時間で表示されます。
日付形式	日付の表示形式を選択します。

3 ［閉じる］をタップする

初期設定が完了し、CycloMeter が起動します。

センサーの接続

ペダリングモニターセンサー SGY-PM900 シリーズや、市販の ANT+ センサーを本機に接続します。

⚠ センサーの接続を始める前に…

- 接続したいセンサーが起動していることを確認してください。
- 複数のセンサーが起動している場合は、接続したいセンサーに本機を近づけるか、デバイス番号を指定して接続を行ってください。
  デバイス番号を指定して接続する方法については､「ユーザーズガイド (WEB 編)」をご覧ください。
- 別売のスピードセンサーを使用する場合､およびホイール周長が異なる場合は､ホイール周長を設定してください。ホイール周長は工場出荷時で 2096 mm に設定されています｡詳しくは｢ユーザーズガイド（WEB 編)」をご覧ください。

1 センサーを自転車に取り付ける

取り付け方法は、お使いのセンサーの取付説明書をご覧ください。

2 CycloMeter のメイン画面で （メニュー）ボタンを押す

基本操作

3 ［センサー］－［新規接続］の順にタップする

4 センサーの情報を入力する

［デバイスタイプ］をタップして、センサーの種類を選択します。
センサーの種類は以下の通りです。

- スピードセンサー
- ケイデンスセンサー
- スピード＆ケイデンスセンサー
- 心拍センサー
- パワーメーター
- ペダリングモニター L
- ペダリングモニター R

5 ［検索］をタップする

［検索中　しばらくお待ちください］というメッセージが表示されます。
センサーが見つかると、センサーの情報が表示されます。

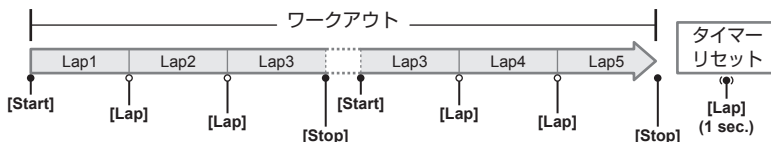
6 センサーの情報を確認する

［エラー率］欄に「OK」と表示されていることを確認します。

- ［エラー率］に「NG」と表示されている場合は、通信状態が悪化しているため、センサー情報が正しく受信されていません。接続するセンサーが起動していることを確認してから、センサーに本機を近づけ、再度接続操作を行ってください。
- 2.4GHz 帯電波の影響で接続できない場合があります。センサーに本機を近づけて接続をしても「NG」が表示される場合は、Wi-Fi などの無線 LAN 機器、電子レンジなどから十分離れたところで再度接続操作を行ってください。

ワークアウト

トレーニング中の経過時間や各種センサー情報、GPS 位置情報などを記録（ロギング）します。
本機では、トレーニングの開始から終了までをワークアウトと呼びます。

ワークアウトの基本の流れ

ロギングの開始 / 終了

1 [START/STOP] ボタンを押して、ロギングを開始する

［タイマースタート］と表示されます。

2 [START/STOP] ボタンを押して、ロギングを終了する

［タイマーストップ］と表示されます。

- 本機の起動中は、本機を PC と接続しているときや設定の初期化中などを除いて、いつでもロギングの開始と終了ができます。
- ロギング中に [LAP] ボタンを短く押すと、ラップを記録できます。

ログデータの保存

ワークアウトが終了したら、タイマーのリセット操作を行って、ログデータを内蔵フラッシュメモリーに保存します。

1 [LAP] ボタンを 1 秒以上長押しする

ログが保存され、タイマーがリセットされます。
ログデータは、本機の以下のフォルダに保存されています。
..￥Pioneer￥Log

- タイマーのリセット操作を行わないと、ログは内蔵フラッシュメモリーに保存されません。

基本操作

PC へのログデータのバックアップ

本機の内蔵フラッシュメモリーに保存したログデータを PC にバックアップします。
バックアップしたログデータは、解析サービス「シクロスフィア」で解析することができます。

1 付属の USB ケーブルで、本機を PC に接続する

本機がマスストレージデバイスとして PC に認識されます。

- 本機と PC の接続については、16 ページをご覧ください。

2 バックアップしたいログデータを選択し、PC の任意の場所に保存する

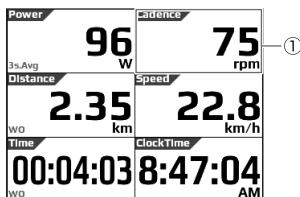
ログデータは、本機の以下のフォルダに保存されています。
..¥Pioneer¥Log
PC の任意の場所に保存してください。

ログデータのファイル名は、ロギングの開始日時となります。
例：LOG_2013_04_01_08_20.db

CycloMeter

CycloMeter は、自転車の走行データを表示する本機の中心的なアプリケーションです。本機は電源を入れると、最初に CycloMeter を起動します。
CycloMeter の詳細については「ユーザーズガイド（WEB 編）」をご覧ください。

画面の見かたと操作

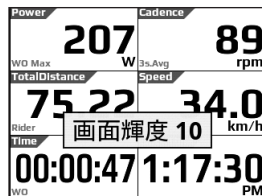
CycloMeter 画面は、複数の「ページ」と「データフィールド」で構成されています。各種情報はデータフィールド単位でページに表示されます。

① **データフィールド**
表示している情報の名称、タイプ、単位などが表示されます。

- ページに表示するデータフィールドの種類やレイアウトはカスタマイズすることができます。詳しくは「ユーザーズガイド（WEB 編）」をご覧ください。

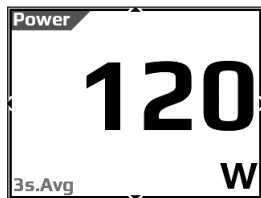
ページを切り替える

ページを左右にフリックすると、表示するページが切り替わります。ページは工場出荷時で全 6 ページあります。

画面輝度を切り替える

ページを上下にフリックすると、画面輝度が 10 段階で切り替わります。

データフィールドを拡大表示する

データフィールドをタップすると、拡大表示します。もう一度タップする、または⮌（バック）ボタンを押すと、ページ表示に戻ります。

Power
120
W
3s.Avg

- 上下左右に▲マークが表示されている場合は、その方向に画面をフリックすると、データフィールドの単位や種類が変更できます。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら以下の内容をチェックしてください。知りたい項目がない場合は、「ユーザーズガイド（WEB 編）」をご覧ください。さらに詳細な項目を掲載しています。
チェックしても直らないときは、販売店にご相談ください。

■ 電源が入らない

原因	処置
電池が充電されていない。	充電してください。
本体の温度が異常に高く（低く）なっている。	温度が下がる（上がる）までしばらくお待ちください。

■ 操作ボタン、タッチパネルがまったく操作できなくなった

原因	処置
何らかの要因で操作できなくなっている可能性がある。	［START/STOP］ボタンと［LAP］ボタンを同時に 10 秒以上押して、強制リセットを試してください。強制リセット後、［日付と時刻］を設定してください（23 ページ）。 強制リセットを行っても、ログデータや設定データは消えません。 本機に異常がないときは、強制リセットをしないでください。

■ タッチパネルが操作できない / 反応しない

原因	処置
タッチパネルを操作する力が弱く、認識されていない。	本機のタッチパネルは抵抗膜方式です。静電式タッチパネルよりも強くタッチして操作する必要があります。
タッチパネルがロックされている。	☰（MENU）ボタンを長押しして、ロックを解除してください。ロック解除の表示が出たら、ロックが解除されます。

■ 初期化 (工場出荷状態) する方法がわからない。

原因	処置
―	ホーム画面から［システム］―［設定管理］―［初期化］の順にタップして初期化することができます。詳細は、「ユーザーズガイド（WEB 編）」をご覧ください。 初期化をすると、走行ログデータも消去されますので、初期化前に PC に保存してください。

■ センサーの情報が表示されない

原因	処置
センサーが接続されていない。	センサーが本機に正しく接続されているか確認してください。ペダリングモニターセンサー SGY-PM900 シリーズを使用している場合は、SGY-PM900 シリーズの取扱説明書、取付・取扱説明書（WEB 編）をご覧ください。
センサーの電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。交換方法は、お使いのセンサーの取扱説明書をご覧ください。

■ 緯度、経度が表示されない

原因	処置
室内や山影などで電波の状態が良くない。 また、初めて本機を使用した場合は、緯度、経度が表示されるまで数分間以上かかる場合がある。	上空の開けた屋外で使用してください。 初めて使用した場合は、表示されるまでお待ちください。

メッセージ表示について

メッセージ	原因	処置
充電温度範囲外のため充電できません。	バッテリーの充電可能温度範囲(0 ～ 40℃) 外で充電しようとしています。安全のため、本機の充電温度範囲（0 ～ 40℃）以外では充電できません。充電時に本機の温度が上昇するため、気温が 40℃以下でも充電できない場合があります。	バッテリーの充電可能温度範囲 (0 ～ 40℃) で充電してください。充電時に電源をオフにすると温度の上昇を抑えられます (16 ページ)。
空き容量が少なくなっています。不要なデータを削除してください。	本機のシステム領域に十分な空き容量が少なくなっています。	走行ログデータを PC にバックアップし、内蔵フラッシュメモリーの走行ログデータを PC から操作して削除してください (27 ページ)。
バッテリー残量が不足しています。電源を接続し充電してください。充電が完了したらアップデートを開始します。	アップデートの失敗を防止するために、十分に充電された状態でのみアップデートする仕様になっています。	本機を充電してください。充電が完了したら自動でアップデートを開始します。

お手入れと保管 / リサイクル / 廃棄時のご注意

お手入れと保管について

お手入れは必ず本機の電源を切ってから行ってください。

- ディスプレイの汚れを拭き取るときは、市販のクリーニングクロスで軽く拭き取ってください。
- 本体、ブラケットは乾いた柔らかい布、または水をつけて硬く絞った布で軽く拭いてください。
- ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品、洗剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。変質したり、塗装がはがれたりすることがあります。
- 本機を長期間保管する場合は、電池を放電させてから、冷暗所に保管してください。

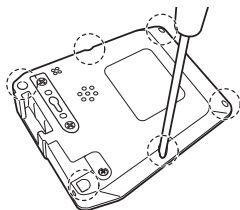
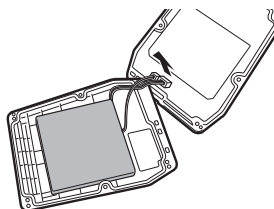
リサイクル時のご注意

本機は、リチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はリサイクルできる貴重な資源です。廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。安全のため、電池のリード線の端子には、セロハンテープなどを貼ってお持ちください。

リチウムイオン電池は以下の手順で取り出します。

- 本機から電池を取りはずす際は、工具などでけがをしないようご注意ください。なお、電池を廃棄するとき以外は本機を分解しないでください。

1 本機のネジを取り外す

プラスドライバーを使って、本機背面のネジ（6 本）を取り外します。

2 本機の背面カバーを外し、リチウムイオン電池のケーブルを基板から取り外す

3 背面カバーからリチウムイオン電池を取り外す

リチウムイオン電池を固定しているテープを剥がして取り外します。リチウムイオン電池を傷つけないよう、ご注意ください。
電池を取り外した本機は、お住まいの自治体の規制に従って廃棄してください。

リチウムイオン電池の交換

電池の交換は、お客様自身では行えません。修理受付窓口（39 ページ）へご相談ください。（電池交換は有償サービスになります）

本機の廃棄について

本機を廃棄する場合は、リチウムイオン電池を取り出し、お住まいの自治体の規制に従って廃棄してください。
取り出したリチウムイオン電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

保証とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。
保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より 1 年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店へご依頼ください。販売店へご依頼が難しい場合は、修理受付窓口にてご相談ください。

保証期間後の修理について

お買い上げの販売店へご依頼ください。販売店へご依頼が難しい場合は、修理受付窓口にてご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談は弊社ご相談窓口またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

仕様

質量：	126 g
寸法：	70 mm (W) x 85 mm (H) x 21.5 mm (D)
端子：	miniUSB
防水対応：	IPX6 相当
センサー通信方式：	ANT+ 無線
測位方式（緯度、経度）：	GPS
測位方式（標高）：	気圧センサー
ディスプレイ：	QVGA 320x240 pixel、横 2.2 インチ タッチパネル（抵抗膜方式）
内蔵フラッシュメモリー：	8GB（ユーザー使用領域：6GB）
動作保証温度範囲：	-10 ～ 50℃
電源電圧：	DC 5V
使用可能時間：	約 12 時間（輝度 5）
充電時間：	約 4 時間（通常充電の場合）
付属品：	ブラケット、ボルト、USB ケーブル、 ストラップ、取付・取扱説明書、保証書

- 使用可能時間は、使用状況によって短くなる場合があります。
- ANT+ とは 2.4 GHz 帯を用いた低消費電力の無線通信規格です。
  詳しくは、http://www.thisisant.com をご覧ください。
- 仕様および外観は予告なく変更することがあります。
- この説明書中のイラストと実物が、一部異なることがあります。
- 本製品は、日本国内専用です。

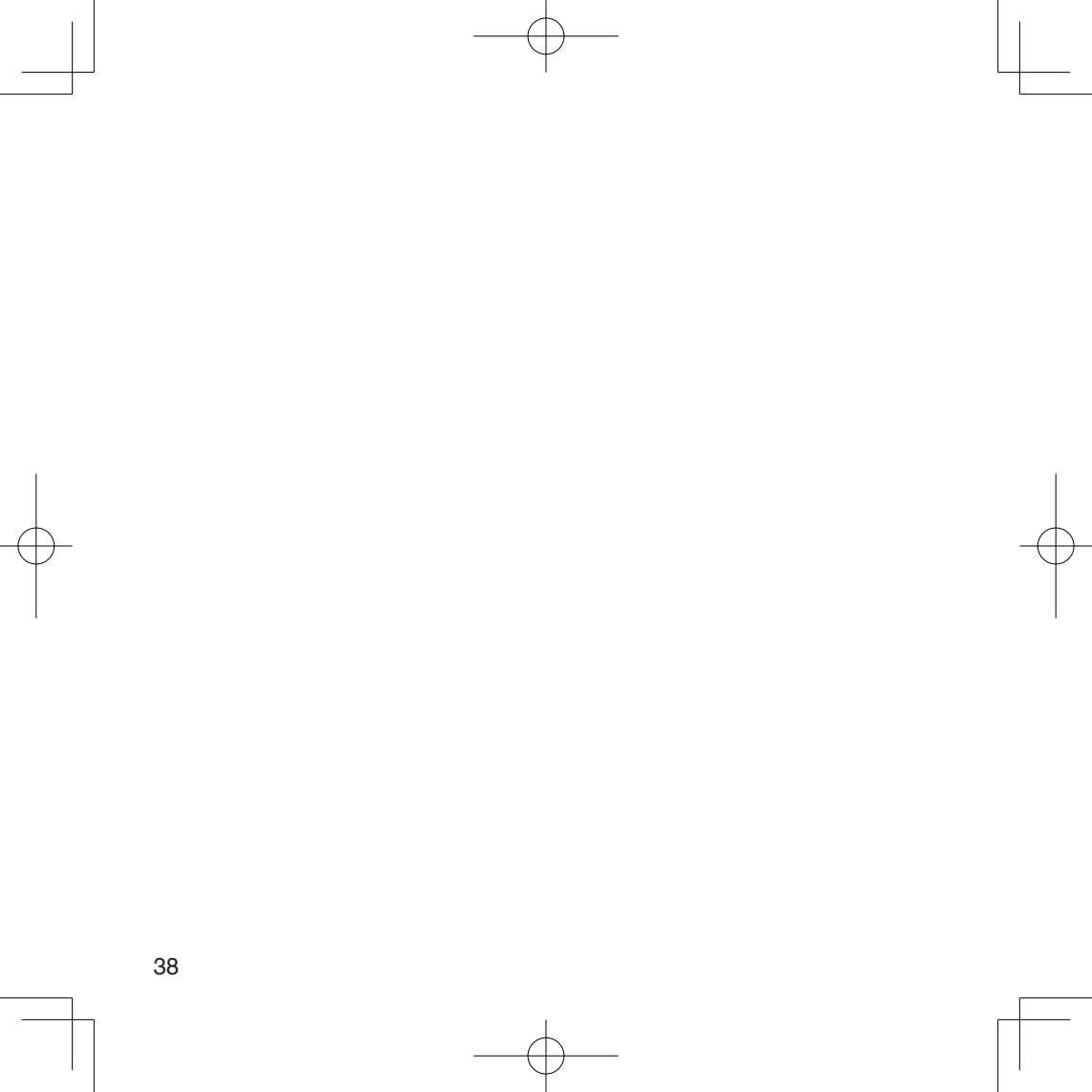
……切り取ってご使用ください

電波に関するご注意

● 本機の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、アマチュア無線局（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

2 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または本機の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

3 その他、お困りのことが起きたときは、弊社ご相談窓口へお問い合わせください。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>
「0120」で始まる フリーコール および フリーコールは、携帯電話·PHS·一部のIP電話などからは、ご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話·PHS·IP電話などからご利用可能ですが、通話料がかかります。
正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。

修理窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『**故障かな?と思ったら**』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名、②ご購入日、③故障症状を具体的にご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付窓口

受付時間 月曜〜金曜 9：30〜18：00
土曜 9：30 〜12：00、 13：00 〜17：00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話： **0120-5-81028**（ゴーパイオニア） 【一般電話】**044-572-8100**
（沖縄県以外の方） （沖縄県の方はこちらへお問い合わせください。）

FAX： **0120-5-81029**

インターネットホームページ *http://pioneer.jp/support/repair/*
※インターネットによる修理のお申し込みを受付けております

部品のご購入についてのご相談窓口 ● 部品（付属品·取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜〜金曜 9：30〜18：00
土曜 9：30 〜12：00、 13：00 〜17：00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話： **0120-5-81095** 【一般電話】**044-572-8107**
FAX： **0120-5-81096**

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。 VOL.045

ご相談窓口のご案内

本製品の取り付けおよび校正は専門技術、専用工具を必要とします。修理･お取り扱い（取り付け･組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求窓口について

インターネットホームページ　*http://pioneer.jp/support/contact/* ※商品についてよくあるお問い合わせなど

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.045

パイオニア株式会社

〒212-0031
神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

<Z-912-015-01>